

## 報告

## すみよい名張をめざす懇談会 2015.12.19 (土)

懇談会にご参加のみなさん、ありがとうございました。以下、懇談内容の要旨を報告します。  
今回は、いつもより参加が寂しい感じでしたが 11 名の方が参加、内 初参加1名で、前回の確認にそ  
ってテーマをしぼっての話し合いをしました。

すずらん (1)、梅ヶ丘 (2)、緑ヶ丘 (3)、池の台 (1)、百合丘 (3)、つつじが丘 (1)

司会進行：羽口か

テ ー マ：① 公共交通問題 ② 懇談会のあり方

### 公共交通問題

- ・「市民の交通をよくする会」の会長をされ、「名張市公共交通会議」に市民委員として参加されて  
いる百合丘の木寺さんから、  
「名張市コミュニティバスの路線図、利用状況、収支状況、運航経費の収入内訳等の資料に基  
づいて」の説明とそれぞれの会議で明らかになってきた問題点、
- ・緑ヶ丘のみどり号の運営委員会の会長の前川さんから  
「みどり号の現状と、利用者を増やすために顧客のターゲットの方向性を変え広げるための取  
り組み」  
の報告をうけて話しあいました。

### 出された意見

(メモ書きにそって要旨を書きました。発言の主旨をとり違えて書いている場合はお  
許してください。またご指摘ください。)

- ★ 利用者は高齢者や障がい者がほとんど。  
病院へ行くのにタクシーではお金がかかりすぎて大変、「なくさんといてほしい」と言う声は切実。赤  
字ではやっていけないので、去年消費税の値上げの時に料金も値上げした。わずかに黒字になったが、  
顧客のターゲットを子どもや女性にも広げて行こう、子どもにバスのファンになってもらえば必ず親  
も乗ってくれるし、将来の利用者にもなると、子どもたちに絵を描いてもらってバス停に掲示したり、  
マスコットキャラクターを募集したりとさまざまな仕掛けをしている。(みどり号は 8 人乗りのバス、  
緑ヶ丘は約 800 世帯、人口約 2000 人)
- ★ 玉城町のオンデマンドバスは無料で福祉対策としても成功しているが、人口 1 万 5 千人という町の  
規模や、公営の施設が中央に集中している町のつくりなど、名張では同じように行かないのではない  
か。
- ★ ナッキー号には、市からの補助が約 1000 万円、ほっとバス錦は福祉バス。アララギ号は過疎対策  
で国からの補助も出ているなど、それぞれのバスの役割や性格によって補助の金額や出所も異なる。

- ★ 成功しているところは役所をあてにせず、その地域が奮闘している。  
実際に交通機関がないところはニーズも高い。名張は車があることが前提のような町。車に乗れる限りは車には勝てない。しかし、乗れなくなったら外に出られない。これからその世代が増えてくる。
- ★ 私はできることなら車に乗りたくないが仕方なく乗っている。市役所や市立病院へ行く時はバスを利用したいが本数が限られ時間がかかる。自転車で市役所まで行ったこともあるが、165号線沿いの歩道は草で段差がわからなかったり狭かったり、何より坂の上り下りは大変、車道を走っても危険で自転車でどこへでも行ける町ではない。車に乗らなくても、また、乗れなくても生活できる町にしたい。
- ★ 百合丘は2800戸、人口5000人。市からの補助を年間70万円受け、利用料金100円で百合丘一青蓮寺間を「ゆりバス」を走らせている、44人が登録しているが走れば走るほど赤字になると聞いている。
- ★ 福祉対策や過疎対策、子どもたちの通学バスなど個別の運営を、うまく組み合わせてニーズにもあわせて効率的な運行ができないものか。今の縦割りの補助金の使い方では有効に使えないのではないか。公共交通一体のものとして行政が主導してこそ市民も知恵をしぼれる。
- ★ 名張市全体の交通をどうあるべきか、先輩方の知恵も借りて、我々も知恵を出し合いたい。
- ★ 1月12日、午後3時から「名張市公共交通会議」が市役所1階の大会議室で開かれる。市民は誰でも傍聴できるので、ぜひ来てほしい。市民の関心の切実度を示すことにもなる。

## 今後の懇談会のあり方について

前段、

「会として立ち上げて、年会費も集めて市民団体として登録すれば、駅にも近い「なばりえ」を会場として借りられる」

「司会や会場申し込み、会議の報告や案内文書など、これまでは最初に集まった者が便宜的にやってきたが、事務局として確認して補充もして行かないと。」

「今日は参加者も少ない（いつもの半分）ので今日決めることは必要最小限のことだけにしよう。」

「名張市はこのままでいいのか」という思いで集まり、数回の話し合いを通じて「名張市をどうしていったらいいか？」という思いが参加者共通のものだということも分かった。」

「名張の現状について考えあえる場は大事だし、色々な考え方や立場の人たちに呼びかけてお互いに学び合いたい。」

というやりとりを踏まえて、

- ① 名称は次回以降で決めて行くこととして、「会」として継続していく・
- ② 当面、会議ごとの会場費については、参加者から100円集める。(正式な「会」発足時に会費を決める)
- ③ 事務局メンバーを募集する。(これまでに参加された方、どなたでも応募OK、次回に申し出て下さい。)
- ④ 連絡用参加者名簿をつくっていくので、名前、住所、電話番号、PCのメールアドレスなど可能な範囲で記入してもらおう。
- ⑤ 「会」ごとのテーマ、翌月の日程は、参加者の話し合いの中で決める。

⑥ 1月のテーマについては、

「地域経済の活性化について考えたい、名張にどうお金を呼び込むか(財政をどうしていくか)」「名張の何が問題なのか、補助金頼みの市政運営、議員の質の問題・・・何からメスを入れて行くか、」「病院問題について」

等の意見が出ましたが、これまで6回の懇談会の中で出されてきた意見を課題別に整理して、それに基づいてどのテーマにするか決めて話を進めることになりました。(三原さんが整理してきてくれます)

以上を確認しました。

次回は 1月26日(火) 1時半～4時半(会場は5時まで借りています)  
場所は、「いきいき」 第2会議室

テーマ

次回までに、これまでの懇談会で出されてきた中味を課題別に整理し、課題ごとの取り組み方を検討します。



## 事務局募集

会議の案内、会議場所の押え、会議の記録と報告、当日受付、会費等の会計・管理、会員名簿作成等をして行くということで複数名必要です。次回に申し出ていただければうれしいです。

**どんな名前? 「会」の名前も考えて見てください。**